

序 章

計画策定にあたって

1. 都市計画マスタープランとは
2. 湖西市都市計画マスタープランの概要

序 章

計画策定にあたって

○「計画策定にあたって」について

本章では、都市計画マスタープランの法的位置づけや役割など、都市計画マスタープランに関する基本的な事項について整理し、「湖西市都市計画マスタープラン」の概要として、策定の背景や上位・関連計画との関連、またマスタープランの構成要素について示します。

1. 都市計画マスタープランとは

1-1 都市計画マスタープランの法的位置づけ

○都市計画法に規定された

「市町村の都市計画に関する基本的な方針」

都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことであり、市町村が行う都市計画の最も基本となる計画です。

1-2 都市計画マスタープランの役割

○長期的なまちづくりの考え方の明確化

都市計画マスタープランは、将来目指すべきまちの姿を「将来都市像」として定め、その実現に向けた長期的なまちづくりの考え方を明らかにするものです。

○都市計画の決定・変更等の根拠

都市計画マスタープランは、市町村が行う都市計画（土地利用・都市施設・市街地開発事業・地区計画）の決定や変更等の根拠となるものです。

○まちづくりの担い手のための「まちづくりガイドライン」

都市計画マスタープランは、市民、市民活動団体、事業者、行政など、まちづくりの担い手の連携のあり方やまちづくりの進め方、また具体的な実現方策等を示した「まちづくりガイドライン」として共有・活用されるものです。

1-3 都市計画マスタープランにおける「将来」

○概ね20年後の将来を見据えたプラン

都市計画マスタープランは、概ね20年後の将来を見据えて定めます。なお、社会・経済情勢の大きな変化などがあった場合には、必要に応じて見直しを行います。

2. 湖西市都市計画マスタープランの概要

2-1 湖西市都市計画マスタープラン改定の背景

○改定された上位・関連計画との整合

近年、上位計画となる湖西市総合計画の改定（2021 年）、都市政策分野では湖西市立地適正化計画（2021 年）や湖西市地域公共交通計画の策定（2022 年）、第 2 次湖西市観光基本計画（2021 年）や第 3 次湖西市環境基本計画（2021 年）、湖西市津波防災地域づくり推進計画（2024 年）などの関連分野の計画策定、さらには国の新広域道路交通計画（中部ブロック）に（仮称）浜松湖西豊橋道路が位置付けられるなど、上位・関連計画の状況変化を踏まえ、まちづくりの基本的な考え方を見直す必要が高まってきていました。

○都市計画マスタープラン策定から令和 6 年 3 月で 10 年経過

湖西市では 2014 年（平成 26 年）3 月に 20 年後の将来を見据えた現行の都市計画マスタープランを策定しましたが、2024 年（令和 6 年）3 月で計画期間の折り返し時期である 10 年が経過することから、計画を見直す契機と捉え、都市計画マスタープランを改定することとしました。

○社会・経済情勢の大きな変化

少子高齢化・世帯数減少社会の本格的到来、コロナ禍を契機としたライフスタイルの変化、南海トラフ巨大地震、異常気象により頻発化・激甚化する自然災害に対する意識の更なる高まり、さらに SDGs、デジタル技術の利活用、カーボンニュートラルへの対応が求められるなど、都市を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化してきており、わが国は時代の変革期を迎えています。

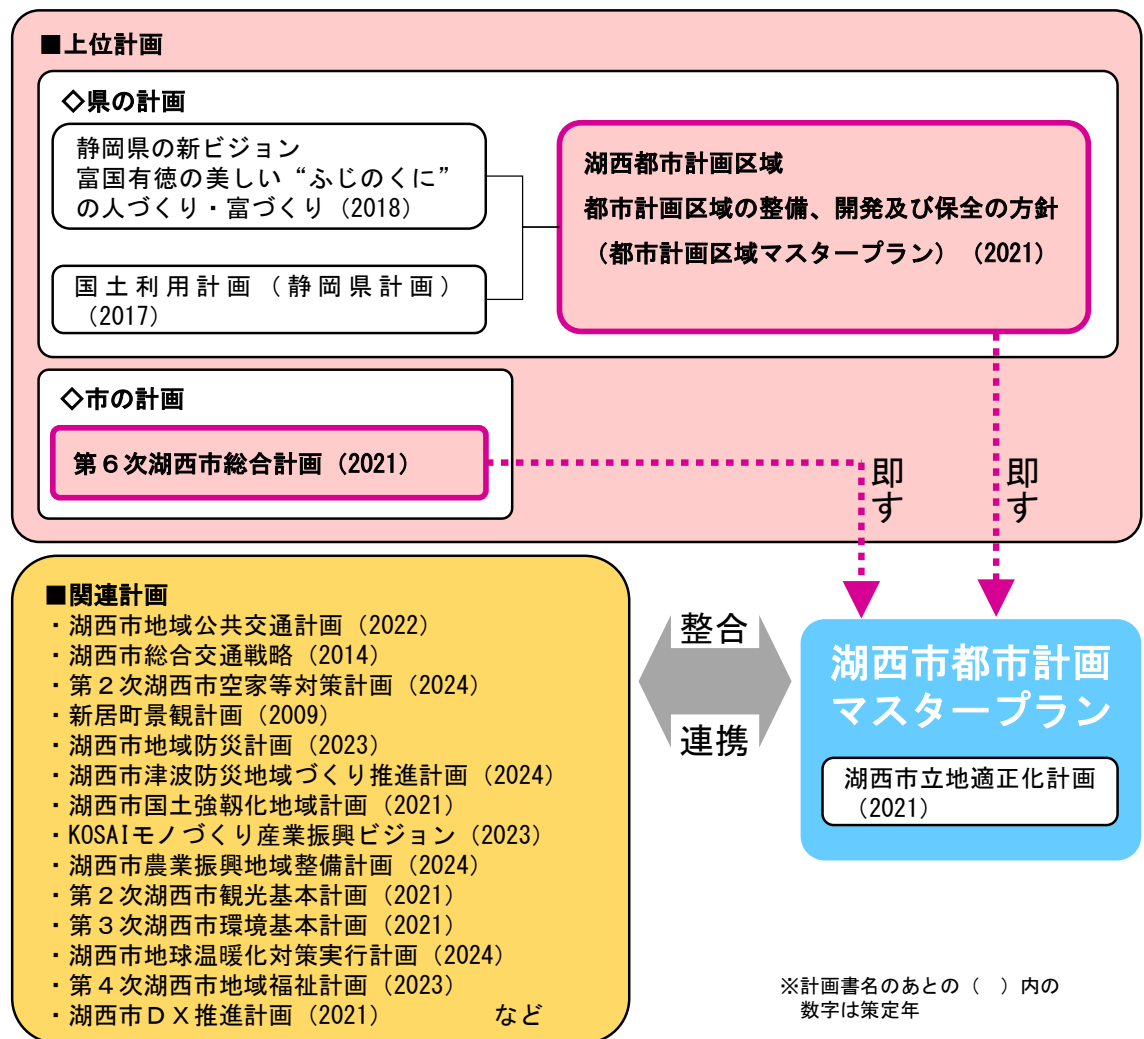
本市においても、このような時代の変化に対応した将来都市像を描き、それに基づくまちづくりを適切に進める必要があります。



2-2 湖西市都市計画マスタープランの位置づけ

○上位計画に即し、関連計画と整合・連携

湖西市都市計画マスタープランは、本市が策定する「総合計画」や、静岡県が策定する「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」といった上位計画に即すとともに、交通、産業、観光、防災、環境、景観など関連する他分野の計画と整合・連携を図って策定しています。



2-3 湖西市都市計画マスタープランの構成

○全体構想、まちづくりの実現に向けて で構成

湖西市都市計画マスタープランは、市全体としての都市づくりの考え方を示した「全体構想」に加え、まちづくりの実現に向けた道すじである「まちづくりの実現に向けて」で構成しています。

